



あのときの常呂・写真館

VOL 120

(1984年)

昭和59年9月9日 湧網線利用促進綱引き大会

▶この綱引き大会は、湧網線の存続のために国鉄湧網線確保対策協議会（網走市・常呂町・佐呂間町・湧別町・上湧別町）が主催した催しです。

●この年、5月18日に、道知事が第2次廃止対象路線の廃止反対の「知事意見書」を運輸大臣に提出します。これを受け、翌月22日に国鉄湧網線を含む第2次廃止対象路線を運輸大臣が承認します。●国鉄湧網線確保対策協議会は、存続に向けた陳情活動をする一方、湧網線の利用促進を図り、「乗って残そう湧網線」をキャッチフレーズにさまざまな取り組みをします。●常呂町でも、行事や大会、出張などには湧網線の積極的利用を町内に呼びかけ、「広報 ところ」の見開きページに下段に「乗って残そう湧網線」の文字を9月号から12月号 まで入れ、湧網線利用をPRしました。●そういう状況の中で、利用促進PRの一環として「能取湖さんご草まつり」にあわせて実施した綱引き大会です。





▶ 9月12日付けの北海タイムスは、「さんご草まつり」のにぎわいを伝えた後に、「ことしのまつりには、〈乗って残そう湧網線〉と、国鉄第2次廃止路線とされている湧網線の沿線住民が全員国鉄湧網線を利用して参加した5市町による湧網線利用促進綱引き大会は人気を呼んでいた。沿線5市町から大人15人（うち女性5人）と小学生15人（うち女性7人）の各2チームを編成したこの大会には、選手150人と応援団70人が国鉄に乗車したため、車両を1両増結するという熱狂ぶりで、主催した湧網線確保対策協議会の面々も満足げ」と大会の雰囲気を紹介しています。



▶「広報ところ」10月号では、常呂町からの参加について「常呂町からは町長ら41人が他町の選手とともに増結された列車で卯原内へ入り、赤く色づいたさんご草まつり会場で、湧網線確保の鉢巻きを締め、綱引きを行いました」と紹介しています。



網走国定公園

第21回

能取湖

さんご草祭り

本祭り9月9日（日）

とき 9月8日～10日→3日間
ところ 能取湖畔 湧網線卯原内駅下車徒歩8分
行事 9月9日

鼓笛演奏会
綱引き大会
タバコダースゲーム
ビール・サイダー早飲み大会
カラオケ大会

午前10時より
午前10時半より
正午より
正午より
午後1時より

少年ボート教室
宝さがし
つぶ・ほたて即売会
つぶ・ほたて焼き賞味会

午後1時より
午後2時
9月8日～10日
（期間中午前10時より
午後4時まで）

乗って残そう湧網線

湧網線利用促進 綱引き大会

午前10時半より

参加チーム

湧別町、上湧別町、佐呂間町
常呂町、網走市 五市町各大人1チーム（15名）
子供1チーム（15名）

主催 国鉄湧網線確保対策協議会

本祭り（9日）卯原内郵便局さんご草祭り会場内臨時出張所開設（午前10時より午後2時まで）記念しおり販売



北海じゃが太一郎
ほたてバター焼
ホワイトチョコサンドクッキー
大地のりんご

株式会社 大西パン

美幌町三橋70 ☎ (01527) 3-4165

御宴会・御会食にお座敷を御利用下さい。

御食事処 蕎そば

福よし

網走市南5東2 ☎ 43-3491

ポリライスは
ビタミンB1補給の
ために作られた
栄養強化米です。

北海道に生れ育って18年

アサヒ生ビール

北海道アサヒビール株式会社

1人3役

ニュー
クッキングソルト

道東塩業網走営業所

お部屋からお風呂から
さんご草の美しい景観が
ご覧いただけます。

日観連会員
網走国定公園・能取湖畔
能取湖荘

電話 (0152) 7-2222 (代)

俺のキャビンブレイク。

キャビン100マイルド

日本赤十字社網走支店